



寄贈された楽器で演奏する両吹奏楽部の部員たち

創立40周年を迎えた西根ライオンズクラブ(松村與右工門会長、会員61人)と創立30周年を迎えた西根ライオネスクラブ(遠藤純子会長、会員18人)は1月20日、節目の記念事業として大更小学校と西根中学校の吹奏楽部に約250万円分の楽器を寄贈しました。ライオンズ、ライオネス両クラブの会員など20人が大更

小学校を訪問。集まった両校の吹奏楽部員15人に、トロンボーンやクラリネットなどの楽器を手渡しました。大更小吹奏楽クラブの高橋実奈部長(6年)は「とてもうれし。3月に小学校最後の演奏会があるので、悔いのない演奏ができるよう、練習をがんばりたい」と真新しい楽器を手に張り切っていました。部員たちは楽器の感触を確かめながら「川の流れのよう

に」を全員で演奏し、会員から拍手が送られました。

## 節目の記念事業 市内吹奏楽部に 楽器を寄贈する



交流を深める参加者の皆さん

市内の工務店など建築業者で組織する八幡平建設職組合(伊藤武美組合長、会員157人)の女性部(外柳キクヨ部長)は1月20日、障害福祉サービス事業所「ポパイの家」(井上和正管理者)の利用者22人を招待し、田頭公民館で交流会を行いました。女性部の部員15人が中心となり、70人分の手打ちそばを準備。打ちたてのそばや手づくりの漬物を一緒に味わいました。ポパイの家の利用者からは、お礼として音楽に合わせて体を動かす、健康体操が披露され、参加者全員で食後の運動を楽しみました。

## 手づくりのぬくもりで 深める交流会開催する



## 楽しみながら学び踊る フラダンス講座を開催

松尾地区公民館講座「フラダンス講座」は1月27日、松尾ふれあい文化伝承館で行われました。ハワイでのフラダンス留学の経験もある高橋香奈さん(大更)を講師に迎え、フラダンスの基本姿勢やステップ、ハンドモーション(手の振り)を学びました。最初はぎこちない動きだった参加者も、終了するころには「涙そうそう」に合わせて笑顔で踊り切るほどに上達。初めて挑戦したという田村晴代さん(野駄)は「もつと簡単だ」と思っていたが、意外と難しく汗をぬぐっていました。



真剣な表情で基本の動きを学ぶ参加者



八幡平遭難対策委員会厳冬期遭難救助訓練(2月7日、八幡平山頂ほか)



田山保育所豆まき会(2月3日、田山保育所)



西根ライオンズクラブ・ライオネスクラブ 楽器寄贈(1月20日、大更小学校)

すなっぶギャラリー